

マーケット・バスケット方式による最低生計費の研究

なかざわ しゅういち
中澤 秀一
 社会福祉学科
 (社会福祉専攻)

● 連絡先 TEL : 054-202-2642
 E-Mail : nakasyu@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

最低生計費, マーケット・バスケット方式,
 最低賃金, 社会保障制度, 地方再生, 生活時間

SDGs (持続可能な開発目標) のなかにある「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「働きがいも経済成長も」等を実現するための第一歩として、人間らしい普通の暮らしを実現するためにはどれくらいの費用がかかるのか試算することを研究しています。具体的には、マーケット・バスケット方式という方法で試算を行っています。この方法は、普通の暮らしに必要な費用を、食費＝○円、住宅費＝△円、光熱水道費＝◇円、被服費＝□円・・・と、一つひとつ丁寧に積み上げていきます。これまでに全国27都道府県で調査を行い、それぞれで普通の暮らしにかかる費用を算定しています。これからも若者も、子育て世帯も、高齢世帯も、外国人も、すべての人が健康で文化的な暮らしが実現できるように、働き方やそれを支える社会制度(社会保障など)について研究をしていきたいと思えます。

表 各地の最低生計費比較

都道府県名	東京都		静岡県	
自治体名	北区		静岡市	
性別	男性	女性	男性	女性
消費支出	179,804	176,824	181,897	180,960
食費	44,361	35,858	40,253	34,240
住居費	57,292	57,292	38,000	38,000
水道・光熱	6,955	6,780	7,559	6,594
家具・家事用品	2,540	2,703	3,883	4,124
被服・履物	6,806	5,302	7,521	4,296
保健医療	1,009	2,385	3,255	4,516
交通・通信	12,075	12,075	43,356	43,167
教養・娯楽	25,577	25,613	18,408	22,034
その他	23,189	28,316	19,662	23,989
非消費支出	51,938	51,938	46,662	46,662
予備費	17,900	17,600	18,100	18,000
最低生計費(月額・税等抜)	197,704	194,424	199,997	198,960
最低生計費(月額・税等込)	249,642	246,362	246,659	245,622
年額(税込)	2,995,704	2,956,344	2,959,908	2,947,464
月150時間換算	1,664	1,642	1,644	1,637
2023年最低賃金額	1,113		984	
都道府県名	岡山県		沖縄県	
自治体名	岡山市		那覇市	
性別	男性	女性	男性	女性
消費支出	180,404	186,105	179,439	182,095
食費	40,333	33,993	41,266	33,200
住居費	35,417	35,417	36,458	36,458
水道・光熱	7,273	11,491	8,764	10,424
家具・家事用品	4,032	4,297	3,826	3,851
被服・履物	6,575	7,701	5,021	3,339
保健医療	1,094	2,352	1,142	3,643
交通・通信	33,384	33,384	33,794	33,794
教養・娯楽	25,454	25,547	25,620	25,177
その他	26,842	31,923	23,548	32,209
非消費支出	50,107	50,107	48,977	48,977
予備費	18,000	18,600	17,900	18,200
最低生計費(月額・税等抜)	198,404	204,705	197,339	200,295
最低生計費(月額・税等込)	248,511	254,812	246,316	249,272
年額(税込)	2,982,132	3,057,744	2,955,792	2,991,264
月150時間換算	1,657	1,699	1,642	1,662
2023年最低賃金額	932		896	

注1) 25歳単身・賃貸ワンルームマンション・アパート(25㎡)に居住という条件で試算

注2) その他には理美容品費、理美容サービス費、身の回り用品費、交際費、自由裁量費を含む

注3) 非消費支出＝所得税+住民税+社会保険料

アピールポイント

調査結果は、新聞やテレビ等の媒体で紹介されており、普通の暮らしを知るための資料として活用されています。

ホスピタル・プレイによる病児・障害児の支援及び対人援助

まつ だいら ち か
社会福祉学科 松平 千佳
(社会福祉専攻)

● 連絡先 TEL : 054-202-2653 FAX : 054-202-2653

キーワード

ホスピタル・プレイ, Hospital Play Specialist,
ソーシャルワーク, 病児, プレイ・セラピー, 対人援助



遊び(Play)の力によって病児や障害児とその家族を支援する専門職ホスピタル・プレイ・スペシャリスト(Hospital Play Specialist ; HPS)について、「セラピューティックな遊び、遊びを使った子ども支援方法の研究及び実践」、「ホスピタル・プレイの価値創造」、「小児医療におけるHPSの専門性確立」を中心に教育研究を行っています。

学術的な領域から子どもにやさしい医療を実現するための課題を明らかにするとともに、小児医療に関わるあらゆるプロセスにおいて遊び本来の力が発揮されるための研究と実践を積み重ねていきます。

平成19年度からハイリスク児である病児/障害児を対象にしたホスピタル・プレイ研究に取り組み、その成果を博士論文「病児の意の命を躍動させる遊びの保障」(令和6年3月)として発表しました。

近年、病児だけでなく、医療的ケア児や虐待児などハイリスク児の支援について研究する国際的なネットワークが広がっており、海外研究者との協働成果を、日本のHPSに病児や障害児に対する新しい視点とアプローチに還元しています。

平成19年度より開講しているHPS養成講座では、令和6年8月末までに270名の修了生を小児医療機関、福祉施設などに送り出しています。子どもにやさしい医療を実現するHPSの養成教育は、平成24年度に実施された独立行政法人日本学術振興会の調査の結果、特に優れており波及効果があると認められました。また、平成25年度文部科学省の「大学における特色ある教育事例の把握等に関する研究調査」において全国42大学の特色ある教育事例として選出されています。



HPS Japan
Hospital Play Specialist



アピールポイント

- ・HPS養成講座(平成19年～)・HPS養成週末講座(平成27年～)の開講
- ・静岡市障害者歯科保健センターとHPSのチームによる、障害児・者に対するやさしい歯科治療を実現するための協働事業の展開
- ・静岡市児童相談所におけるプレイセラピーを使ったアドバイザー業務担当

幼稚園等における子どもの環境世界の構造理解に関するフィールド研究

こども学科 **甲賀 崇史**

こう が たかし

● 連絡先 E-Mail : koukohga@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

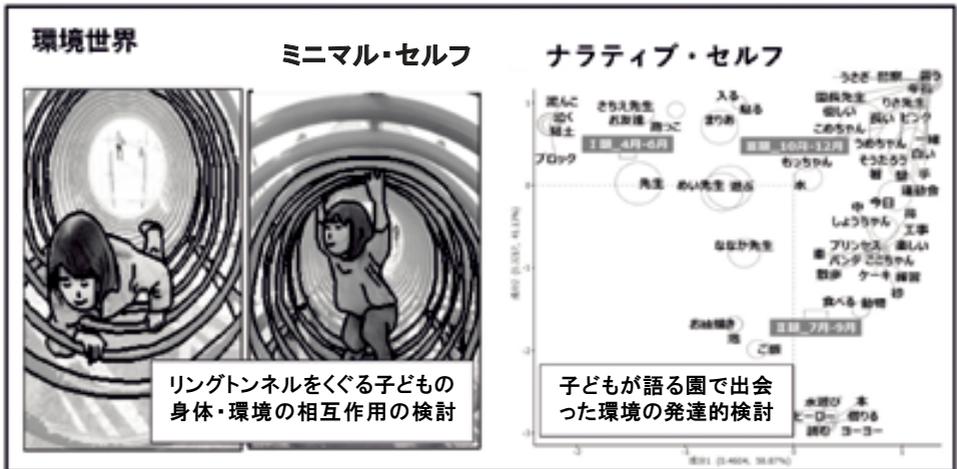
保育, 幼児教育, 環境, 環境世界, 自己, 意味



短期大学部

幼稚園等は、子どもが世界の豊かさに出会う場所です。小学校教育のようなカリキュラムに対応した具体的な学習内容やそれを明確に示した教科書のような教材が存在しない保育・幼児教育において、子どもの体験や経験を捉えていくことは教育が成立するための生命線といえます。そこで、幼稚園などを訪問してフィールド調査をおこない、子どもが身近な環境に関わりながらつくりだす世界（umwelt: 環境世界）を捉える研究に取り組んでいます。

環境世界は、体験あるいは経験している一人一人の子どもに固有の自己（self）が必然的にともありません（Thompson, 2004）。そして自己は、前反省的な体験の流れであるミニマル・セルフと、反省的に言葉で語られる経験であるナラティブ・セルフに区別されます（ギャラガー, 2000）。このことを踏まえて、行為のなかで現出する自己と言葉で語られる自己の2つの側面から、子どもの環境世界の構造を捉えることを目指しています。



アピールポイント

保育に関わる教育や研究で連携してくださる園を探しています！

乳幼児期の子育て支援のための心理学的研究

こども学科 小林 佐知子
こばやし さちこ

●連絡先 TEL: 054-202-2690 FAX: 054-202-2690

キーワード

動機づけ、父親、職場復帰、メンタルヘルス、
ソーシャル・サポート、描画発達



短期大学部

現代の育児はストレスや不安を抱えやすく、虐待をはじめ不適切な養育を巡る問題や、父親の育児参加など社会的な課題が少なくありません。こうした諸問題をどうしたら解決できるのか、①親の心を深く理解する（心理メカニズムを解明する）、②効果的な支援方法を探る（子育て支援に役立つ）という2方向からアプローチしています。他方、保育の場で子どもの発達を捉えるための描画の可能性に着目し、描画発達の研究も行っています。

1) 育児の動機づけ

人はなぜ育児をするのか（しないのか）。育児に心が向かわない親たちの心を深く理解するために、“動機づけ（motivation）”の視点から育児場面における父親・母親の心理プロセスを解明しています。

2) 父親の育児

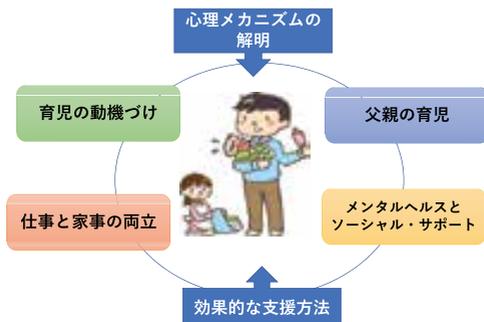
乳児をもつ父親の育児参加と発達プロセスに関する研究をしています。乳児が泣く場面での父親と母親の認知や解釈の違い、父親の育児行動の特徴を検討しながら、適切な父親の育児のあり方について考えています。

3) 仕事と家事の両立

働く母親が増加する一方で、育児休暇取得後の職場適応や、仕事と家庭の両立に悩む母親が増えています。これまであまり着目されなかった職場復帰前後における母親の心理と支援について研究しました。

4) 父親・母親のメンタルヘルスとソーシャル・サポート

抑うつ傾向を中心に、父親、母親のメンタルヘルスとその関連要因を研究してきました。環境要因（ソーシャル・サポート）と内的要因（親自身のパーソナリティなど）との相互作用モデルを構築しました。



アピールポイント

親や保育者、保健師などを対象に、育児に関するセミナーや研修会（子どもの心を育むための大人の関わり方、子どもの障害、職場復帰支援、メンタルケアなど）の講師を担当してきました。

美術教育における表現活動と鑑賞活動に関する実践的研究



こども学科 藤田 雅也

● 連絡先 TEL: 054-202-2687
E-Mail: fujita@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード 美術教育, 幼児造形教育, 図画工作科教育, 美術科教育, 触覚, 鑑賞学習指導, 表現と鑑賞, 授業づくり, ワークショップ, 石彫制作



これまでに、「鑑賞学習指導に関する全国調査の実施と分析」や「鑑賞学習ルーブリックの作成と活用」、「鑑賞学習指導の教材開発」に関する研究等に取り組んできました。現在は、「美術鑑賞学習指導体系の構築に関する実践的研究」(令和2・3・4・5年度文科省科研費基盤研究(B)、研究分担者、課題番号: 20H016880001、研究代表者: 松岡宏明)に取り組んでおり、国内外の研究者や実践者と共に研究を進めています。

また、「生命」をテーマとした石彫作品の制作と発表も行っています。作品を見て鑑賞するだけでなく、手で触れて鑑賞する授業を小学校や中学校などで実施し、触る行為が表現活動に与える影響について実践的な研究を展開しています。



石彫作品『大地の芽』
(H135×W360×D165 cm/六方石)



年長児を対象としたワークショップ
『みてかんじてつくってあそぶ』



小学生を対象としたワークショップ
『色砂をつくって、砂絵を楽しもう』

アピールポイント

幼児や児童を対象とした造形ワークショップ及び実践研究会などで講師を務めることができます。保育・教育現場や美術館との連携による取り組みも可能です。

福祉的課題を抱える子どもの権利保障に関する研究

まつ うら たかし

こども学科 **松浦 崇**

(本研究内容についてご興味のある方は、地域・産学連携推進室までご連絡ください。)
TEL:054-264-5124 E-Mail:renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

教育福祉、子どもの権利、社会的養護、保育政策、子ども虐待、子どもの貧困、子育て支援



「貧困」や「暴力」(虐待)、「障がい」、「差別」など、さまざまな形で困難(福祉的課題)を抱える子どもの権利保障をめぐる問題について研究しています。

- 1) 家庭で生活できない子どもを社会的に養育する制度である「社会的養護」は、虐待の増加と共に改めて注目されています。研究では、子ども虐待が増加している社会的背景や、歴史的変遷について検討しています。
- 2) 近年、保育制度が急速に整備されていますが、保育が「預かり事業」として軽視される動きも見られます。そこで、保育政策の動向について検討し、「保育」を、子どもの教育と福祉の権利を保障する営みとして捉えていきたいと考えています。
- 3) 子育てへの不安・負担が大きくなり、子育て支援の充実が求められています。子育てに影響を与えている社会環境(家庭、保育、労働環境)や、保育施設における子育て支援のあり方について、検討しています。



アピールポイント

子どもに関わる福祉問題(貧困、虐待、非行)や、保育政策、子育て支援に関する講演を行ってきました。

子どもの音楽と表現



やま もと まなぶ
こども学科 **山本 学**

• 連絡先 TEL: 054-202-2646
E-Mail: yamamoto@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

音楽教育、遊び歌、作曲、表現

・校歌作曲

2015年 玄海町立玄海みらい学園（佐賀）

2022年 竜王町立竜王こども園（滋賀）、反町ひかり保育園園歌（神奈川）

2024年、県立ふじのくに国際高校（静岡）、県立厚木王子高校（神奈川）
を制作しました。

・子どもと保育と音楽と表現の講師・講演

子育て支援員育成の講師（子どもの生活と遊び）、静岡県教育委員会の幼稚園教諭初任者研修の講師（手遊び）、伊豆の国市ファミリーサポートセンター講師（子どもの遊び）、桐朋学園大学附属子供のための音楽教室講師、カワイ音楽コンクールの審査員などを行っています。

・音楽教育の研究

2019年には『保育者になるためのピアノ教本～子どもの歌でいつのまにか上達する～』として、子どもの歌のみで構成され、順に学習していけば上達するピアノ教本を公刊しました。メソードのような構造的上達を伴うシステムを得意としています。



アピールポイント

音楽や子どもの音楽表現に関するものならなんでもご相談ください。

新機軸の自然災害予測技術



かも がわ まさし

自然災害研究部門 **鴨川 仁**

- 連絡先 TEL : 054-245-5600 FAX : 054-245-5603
E-Mail : kamogawa@u-shizuoka-ken.ac.jp
- ホームページ <https://www.masashikamogawa.com/>
<https://shizuoka-earth.org/>

キーワード

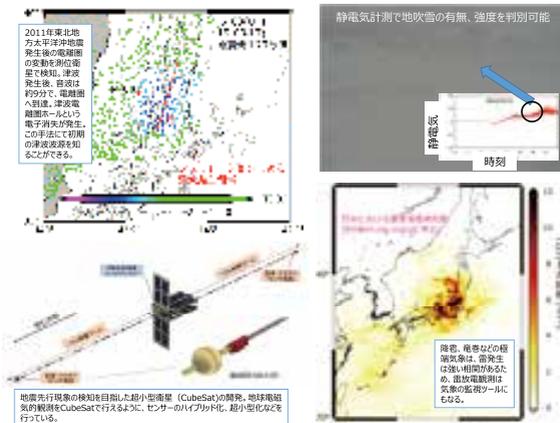
自然災害予測, 地震, 雷, 火山, 津波, 地吹雪, 極端気象, ゲリラ豪雨, 人工衛星



日本では自然災害に対し常に脅かされています。その中で、地震を始めとした予測技術が極めて困難な現象でも、科学の進展とともに予測に結びつく研究成果が得られつつあります。これに加えて近年日本では地球温暖化に起因すると見られるゲリラ豪雨等の異常気象などが発生していることから、新しい予測技術は常に求められています。地球電磁氣的計測を中心とした多種多様な科学観測で自然災害予測技術の社会実装を目指します。以下が現在取り組んでいる研究テーマです。

- (1) 津波研究
 - ・津波電離圏ホール検知による早期津波予測技術開発
 - ・早期津波予測に特化した超小型衛星の開発
- (2) 地震研究
 - ・前震モニターによる地震準備過程の調査
 - ・地震先行検知による地震発生予測を目指した超小型衛星の開発
- (3) 環境科学研究 (雷・大気電気研究)
 - ・気候変動、極端気象を雷から監視
- (4) 火山噴火予測研究
 - ・地磁気やカメラ監視による富士山の火山噴火予測
- (5) 地吹雪予測
 - ・静電気計測による地吹雪予測

グローバル地域センター



アピールポイント

10社を超える企業との共同研究、受託研究の実績があります。

ビックデータ解析による自然災害研究



なんじょう かず よし
自然災害研究部門 **楠城 一嘉**

- 連絡先 TEL : 054-245-5600 FAX : 054-245-5603
E-Mail : nanjo@u-shizuoka-ken.ac.jp
- ホームページ <https://shizuoka-earth.org/>

キーワード

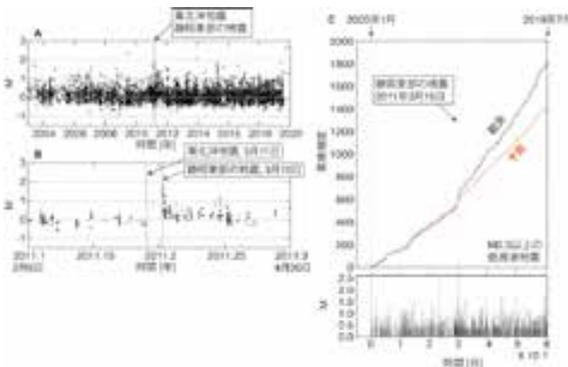
自然災害, リスク評価, ビックデータ, 火山, 津波, 地震, 南アルプス, 防災啓発, 確率・統計



統計学、パターン認識、人工知能などの現代科学技術を大量の自然災害のデータに網羅的に適用することで知識を取り出す、いわゆる“データマイニング”を駆使した研究を行っています。例えば、地震や火山の研究では、過去から現在までに起きた地震や火山の記録データを大量に収集し、取捨選択、保管、検索、共有、転送、解析、可視化を行います。そして、データの集合の傾向を掴み、地震・火山噴火の予測やリスク評価に資する情報を抽出します。このような“学”のノウハウにより“産・官・民”のデータを分析し、問題を素早く解決する支援ができます。以下に富士山噴火に備えてマグマ活動を監視する最新研究を紹介します。詳しい説明は下記URLまたは論文をご覧ください。

【URL】 <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/news/20230710/>

【論文】 Nanjo, K. Z., Yukutake, Y. & Kumazawa, T. Activated volcanism of Mount Fuji by the 2011 Japanese large earthquakes. Scientific Reports 13, 10562 (2023). <https://doi.org/10.1038/s41598-023-37735-4>



この図は富士山深部のマグマ活動と関係が指摘されている低周波地震を研究した結果を示しています。東日本大震災の原因となるM9の東北沖地震の4日後に静岡東部で比較的大きめ(M5.9)の地震が誘発されました。静岡東部の地震の震源は富士山の山麓だったため、当時、噴火の危惧が高まりました。現在、噴火の危惧は払拭されましたが、本研究の結果により、静岡東部の地震は低周波地震を活発化させたことが判明し、噴火に至らなかったがマグマ活動に影響を与えた出来事だったことがわかりました。

アピールポイント

- 複数の企業や団体との研究実績があります
- 大学生・高校生向け読み物「地震と火山と防災のはなし」

50 音索引

ア

浅井 章良	054
浅井 知浩	009
雨谷 敬史	084
天野 政紀	155
天野 ゆかり	156
新井 英一	076
有元 志保	211
安 瓊伊	222

イ

飯野 勝己	104
飯野 光浩	105
池田 麻左子	182
石井 由香	106
石川 智久	006
石川 義道	107
市川 陽子	080
伊藤 邦彦	036
伊藤 圭祐	063
伊藤 純子	196
伊藤 創平	065
伊藤 由彦	056
稲井 誠	021
犬塚 協太	108
井上 和幸	037
伊吹 裕子	095
伊美 友紀子	072
井本 智明	157
岩崎 邦彦	158
岩瀬 麻里	099
岩本 憲人	042

ウ

植田 春美	183
上野 雄史	159
上原 克仁	160
内田 邦敏	099
内田 信也	038,039
内海 佐和子	161
梅澤 和寛	094
梅本 英司	051

エ

江上 寛通	048
江木 正浩	061
江口 智美	081
江原 勝幸	223

オ

大久保 あかね	162
大久保 誠也	163
太田 敏郎	083
太田 尚子	184
大槻 尚子	080
大野 絢也	109
大橋 若奈	052
大原 裕也	070
大和田 裕美	185
岡村 明夢	110
岡本 衆資	087
沖本 まどか	164
奥田 都子	224
小郷 尚久	054
長田 裕之	023
小田 紘久	165
落合 康裕	166
尾上 誠良	025

カ

カウクルアムアン アムナー	167
賀川 義之	033
柏倉 康治	038,039
刀坂 泰史	031
加藤 京里	186
金山 圭一	215
金子 雪子	008
鴨川 仁	234
唐木 晋一郎	098
河合 保枝	057
川上 由香	076
河本 小百合	038、039
河原崎 泰昌	069

キ

木澤 景	111
岸 昭雄	168
岸本 真治	024

北野 嘉章	112
木村 綾	169
木村 俊秀	007

ク

串田 修	078
窪田 辰政	014
熊澤 茂則	058
栗木 清典	077
紅林 佑希	003
黒川 洵子	032
桑野 稔子	079

ケ

剣持 久木	113
-------	-----

コ

小泉 祐貴	203
小出 裕之	010
甲賀 崇史	229
国保 祥子	170
小窪 千早	114
兒島 憲二	018
児玉 昌美	032
湖中 真哉	115
小西 敦	171
小西 英之	041
小林 公子	070
小林 佐知子	230
小林 亨	092
小林 由佳梨	216
小針 進	116
小牧 裕佳子	096
近藤 啓	028
近藤 健	019
近藤 美保	207

サ

斎藤 貴江子	101
坂巻 静佳	117
坂本 多穂	032
相良 陸成	172
佐藤 拓海	012
佐藤 友紀	071

佐藤 秀行	026
佐藤 真千子	118
佐藤 理乃	187
佐藤 瑠美	188
澤崎 宏一	119
澤田 潤一	054
澤田 敬人	120

シ

塩崎 悠輝	121
繁田 堯	061
志津 怜太	005
島村 裕子	060
清水 聡史	032
下山田 真	059
榛葉 有希	075

ス

管原 清子	189
鈴木 郁美	190
鈴木 さやか	122
鈴木 俊文	225
須田 孝司	123
砂川 陽一	031

ソ

園田 明人	124
孫 暁剛	125

タ

高木 剛	226
高田 佳輔	212
高橋 忠伸	002
高畑 幸	126
篁 宗一	191
滝田 良	019
竹内 英之	001
竹下 誠二郎	173
竹下 (石塚) 典子	213
竹部 歩美	127
谷 晃	090
谷 幸則	093
玉利 祐樹	174

50 音索引

田村 謙太郎 097
田村 敏広 128

ツ

辻 大樹 034
角替 弘規 082
坪田 光平 129

テ

ティーン・ジョナサン 130
寺尾 康 131
寺崎 竜雄 175
寺田 祐子 064
照喜名 孝之 029

ト

徳村 雅弘 089
轟木 堅一郎 016
富沢 壽勇 132

ナ

永井 大介 086
仲井 雪絵 217
中岡 正昭 192
中川 有加 193
中澤 秀一 227
永谷 実穂 194
長谷 由紀子 218
中西 勝宏 051
長野 明子 133
中野 祥吾 068
中村 順行 100
長屋 和美 195
奈倉 京子 134
楠城 一嘉 235

ニ

西村 晶絵 135

ノ

野口 有紀 219
野口 理子 176
野津 美香子 197

野呂 和嗣 085

ハ

橋川 裕之 136
橋本 博 044
橋本 勝 137
長谷部 美紀 198
秦 俊貴 079
畑中 友太 030
浜 由樹子 138
濱島 義隆 048
林 恵嗣 214
林 久由 074
林 みよ子 199
原 清敬 091
原 幸大 045
原 雄二 049

ヒ

東野 定律 177
疋田 智也 013
菱木 麻美 046
平野 航太郎 049
平山 洋 139

フ

ファイアー マティアス 140
福島 恭子 200
藤田 景子 201
藤田 雅也 231
藤田 美枝子 220
藤浪 大輔 066
漕上 壮太郎 047
鮒 信学 062
古庄 仰 017

ヘ

ヘムストック ウエンディ 074

ホ

ホークフィリップ 015
保坂 利男 075
星 有紀 202

細岡 哲也 072
細川 光洋 141
堀内 賢志 142
本田 千尋 058
本同 宏成 067

マ

前野 真由美 204
前山 亮吉 143
牧野 正和 088
増井 昇 090
増田 修一 060
松浦 崇 232
松岡 清志 178
松平 千佳 228
松森 奈津子 144
眞鍋 敬 040
丸山 始美 205

ミ

三浦 進司 071
三浦 基靖 038,039
三沢 萌伽 206
宮崎 晋生 145
明正 大純 092
三好 規之 073

ム

武藤 伸明 179
村上 光 050
村上 和弥 059
村上 央 054
村橋 勲 146

モ

望戸 愛果 147
森 潔 053
森 直香 148
森本 達也 031
森山 優 149

ヤ

谷澤 康玄 035

梁川 明 208
山口 深雪 043
山口 桃生 006
山下 賢二 048
山下 早苗 209
山下 光 150
山田 紋子 210
山田 幸平 027
山田 静雄 055
山田 浩 057
山本 健介 151
山本 学 233

ユ

湯瀬 裕昭 180

ヨ

吉田 直樹 221
吉成 浩一 004
吉村 文彦 020
米澤 正 011
米野 みちよ 152
米山 優子 153

リ

リダンポールアラン 154

ワ

若林 敬二 102
渡辺 賢二 022
渡邊 貴之 181
薬科 カ 103

静岡県立大学へのご案内

草薙キャンパス Kusanagi Campus

・アクセスマップ



・所在学部

| 学部 | 薬学部 / 食品栄養科学部 / 国際関係学部 / 経営情報学部 / 看護学部 ※
| 大学院 | 薬食生命科学総合学府 / 国際関係学研究所 / 経営情報イノベーション研究科 / 看護学研究科
※看護学部は、草薙・小鹿両キャンパスでの授業となっています。

・最寄駅からのアクセス

電車 | JR「草薙駅」、または静岡鉄道「県立美術館前駅」下車、同「草薙駅」から徒歩15分
バス | しずてつジャストライン
「草薙駅前」バス停より草薙団地行き（三保草薙線）で「県立大学入口」下車徒歩5分
※平日の午前のみ、「県立大学前」下車が可能（下車0分）

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

TEL 054-264-5102 (代表)

WEB <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

小鹿キャンパス Oshika Campus

・アクセスマップ



・所在学部

| 学部 | 看護学部 ※
| 短期大学部 | 歯科衛生学科 / 社会福祉学科 / こども学科
※看護学部は、草薙・小鹿両キャンパスでの授業となっています。

・最寄駅からのアクセス

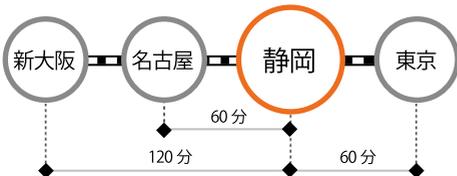
電車 | 静岡鉄道「柚木駅」下車、徒歩20分。JR「東静岡駅」下車、徒歩20分
バス | しずてつジャストライン
●JR 静岡駅北口8番乗り場より「美和大谷線（静岡大学または東大谷方面）」または
●「JR 静岡駅南口21番乗り場」より「みなみ線（曲金経由）」で「小鹿駅前」下車徒歩3分

〒422-8021 静岡市駿河区小鹿 2-2-1

TEL 054-202-2600 (代表)

WEB <https://oshika.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

・主要都市から静岡駅までのアクセス



※各駅より新幹線「ひかり」号利用
※JR東海時刻表より抜粋。乗り換え時間等は含みません。

東海道新幹線

発行

静岡県公立大学法人 静岡県立大学
・同短期大学部
地域・産学連携推進室

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

TEL 054-264-5124 (直通)

E-mail renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp

静岡市清水産業・情報プラザ 産学官連携のご案内

静岡市清水産業・情報プラザ（指定管理者：静岡商工会議所）では、近隣大学との産学官連携を通じて新たな産業の創出、地域の活性化など「社会貢献」を目指した活動しております。その活動の一環として「産学官交流講演会」を年6回開催しております。どなたでも聴講可能です。ご興味のある方はぜひご参加ください。

産学官交流講演会

静岡県内の大学の先生による研究事例発表により、その技術・ノウハウを企業において産業化に結び付ける事業です。講演会後は大学の先生との情報交換を目的に名刺交換会を実施しております。

2024 年度の実施案内

- 6月 東海大学
『東海大学の人材育成と県大・静大の産学連携』
- 7月 常葉大学
『ネット時代の観光地づくり、
体験デザインの課題と産学研究事例』
- 10月 静岡理科大学
『静岡理科大学が目指すもの』
- 11月 静岡大学
『不可視光情報の3D空間表現と
カーボンナノチューブの産業応用』
- 12月 静岡県立大学
『食品栄養科学部の研究と工業技術研究所の支援』
- 2月 静岡県立静岡農業高等学校
『種子保存・農福連携と藻類微生物による資源循環』



2025 年度の産学官交流講演会の予定

- ・東海大学 静岡キャンパス
- ・静岡英和学院大学
- ・静岡理科大学
- ・静岡大学
- ・静岡県立大学
- ・静岡県立静岡農業高等学校

産学官交流講演会の
詳細は、こちらから



静岡市清水産業・情報プラザ（指定管理者：静岡商工会議所）
静岡市清水区相生町 6-17

TEL：054-355-5400 / e-mail：info@siip.jp



沼津信用金庫

当金庫では、多様な応援体制や金融支援プログラムなどを用意しており、お客様との対話を通じて地域の皆さまとともに歩いていくことが地域金融機関としての役割であると考えております。

『ぬましん未来応援ファンド』

当金庫ではファンドを組成し、成長を目指す企業様に対して資金調達の支援をしております。

創業支援・地域企業の成長支援・上場を目指すお取引先の資金ニーズに出資を目的とした『ぬましん未来応援ファンド』を組成しました。



「ぬましんCOMPASS」は沼津信用金庫が運営するシェアオフィス・コワーキングスペース・ワークショップスタジオの機能が1つになった、まちづくりプラットフォームです。地域企業と起業家のマッチングを促進するとともに地域ネットワークを活用した伴走支援を展開しています。

